




第2回

北海道胆振地域公共交通活性化協議会 総会

－資料－

【資料内容】

- ・ 令和5年度スケジュール（案）について
 - ・ 各種調査（案）について
- 

第2回北海道胆振地域公共交通活性化協議会幹事会-資料目次-

1.	令和5年度スケジュール（案）について	2
1-1	計画策定スケジュール（案）	2
1-2	協議会等スケジュール（案）	3
2.	各種調査（案）について	4
2-1	地域概況整理	4
2-2	上位・関連計画の整理	7
2-3	アンケート調査	8
2-4	乗り込み調査	9
2-5	ヒアリング調査	11



1-1 計画策定スケジュール（案）

P. 2

1. 令和5年度スケジュール（案）について

1-2 協議会等スケジュール（案）

		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1)胆振地域の概況整理		→									
(2)各種調査実施・取りまとめ		→									
(3)計画（案）策定											
ア	問題点の抽出・課題の整理		→								
イ	計画（素案）の作成		→								
ウ	関係機関協議							→			
エ	パブコメ実施									→	
オ	計画書（案）の作成										→
(4)協議会等の開催											
ア	協議会		<div>■</div> <div>【第2回協議会】 ・ 11市町の現況分析結果 ・ 各種調査内容及調査票案の協議</div>		<div>■</div> <div>【第3回協議会】 ・ 各種調査結果 ・ 計画方向性及び骨子の協議</div>		<div>■</div> <div>【第4回協議会】 ・ 計画素案の協議 ※方向性に基づく施策及び事業案 ※目標値及びスケジュール</div>			<div>■</div> <div>【第5回協議会】 ・ 計画最終版の協議</div>	
イ	幹事会	<div>■</div> <div>【第1回幹事会】 ・ スケジュール(案) ・ 調査内容の検討 ・ 分科会の設置</div>		<div>■</div> <div>【第2回幹事会】 ・ 各種調査結果 ・ 計画方向性及び骨子への意見出し</div>		<div>■</div> <div>【第3回幹事会】 ・ 計画素案への意見出し</div>				<div>■</div> <div>【第4回幹事会】 ・ 計画最終版の協議</div>	
ウ	分科会	<div>■</div> <div>【第1回分科会】 ・ 方面別の路線維持に係る考え方の確認 ・ 交通事業者の現状共有</div>		<div>■</div> <div>【第2回分科会】 ・ 各種調査結果 ・ 計画方向性に対する方面別協議</div>		<div>■</div> <div>【第3回分科会】 ・ 計画素案の方面別協議</div>				<div>■</div> <div>【第4回分科会】 ・ 計画最終版の協議</div>	

P. 3

2. 各種調査（案）について

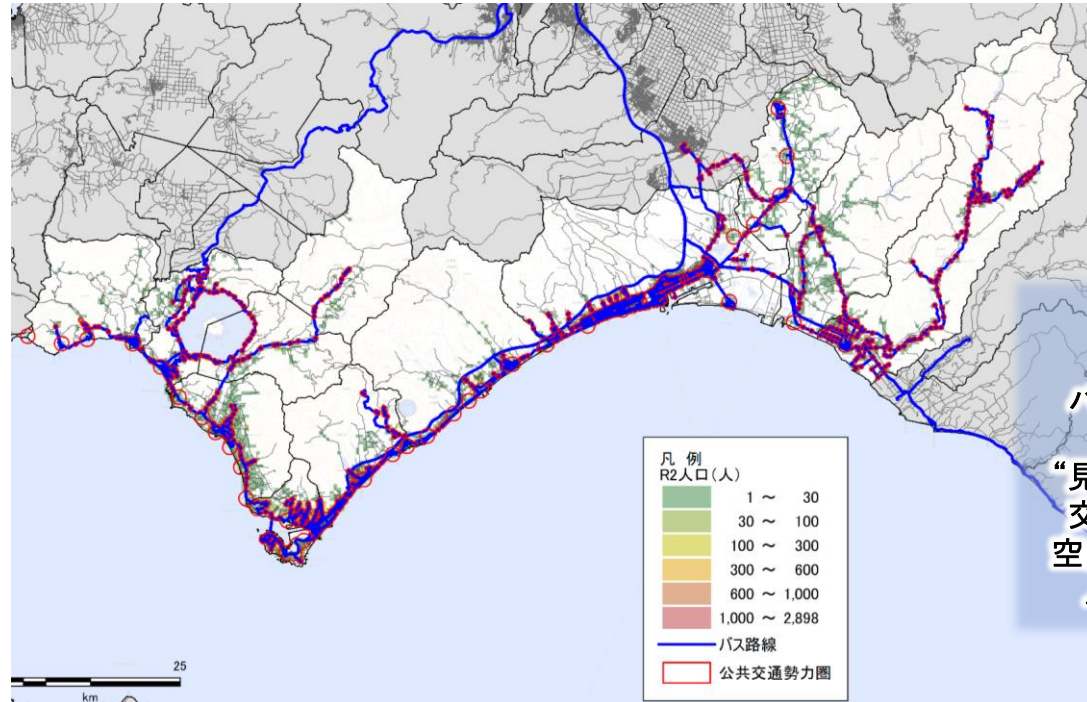
2-1 地域概況整理

□基礎データ（地勢、気候、道路網、人口、高齢化、交通データ、医療・商業・公共施設データ等）について、国土数値情報や既存統計資料、RESAS、公共交通に係る既存データなどを有効活用し、北海道胆振地域の地域概況を整理

計画策定に係るデータ	データの取得方法
・ 国勢調査や国土数値情報、RESASなどの既存統計資料から得られるデータ	・ インターネットを通じた取得
・ 公共交通の概況（利用者数等）のデータ	・ ヒアリング調査にて把握
・ 免許返納者数等の一般的に公表されていないデータ ・ スクールバスや移動支援事業等の行政が実施している事業に係るデータ	・ 事務局や北海道胆振地域11市町からのデータ提供により取得

各市町
さま
への
ご依頼

- ・ 免許返納者数等の一般的に公表されていないデータの提供
- ・ 各市町で実施している移動支援事業などの事業費用や概要等のデータ提供



人口データ
＋
バス路線データ
↓
“見える化”により
交通空白地域や
空白地域に属する
人口が明確化

既存データで整理可能な
内容について、
一部分析結果を次ページ
以降で整理

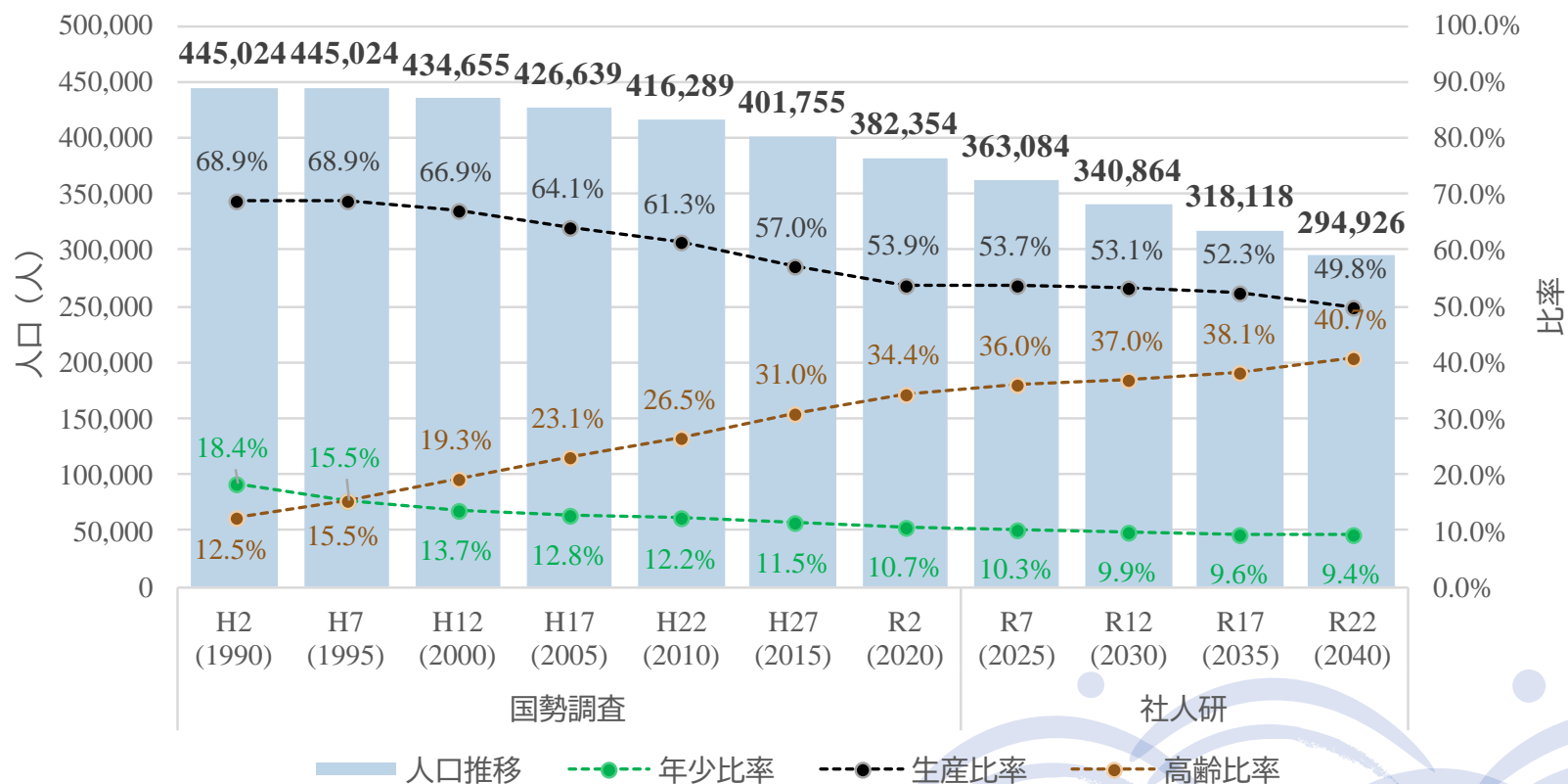
2. 各種調査（案）について

2-1 地域概況整理

(1) 人口推移・人口分布

□北海道胆振地域（全11市町）の人口は年々減少傾向であり、また年少比率及び生産比率についても低下傾向となっています。

□一方で、公共交通の主な利用者である高齢者世代の高齢比率については増加の一途をたどっており、移動の需要は高まることが想定されますが、その需要を支える働き手の減少が大きな問題となっています。



出典：国勢調査結果及び社人研推計結果

北海道胆振地域の人口推移

2. 各種調査（案）について

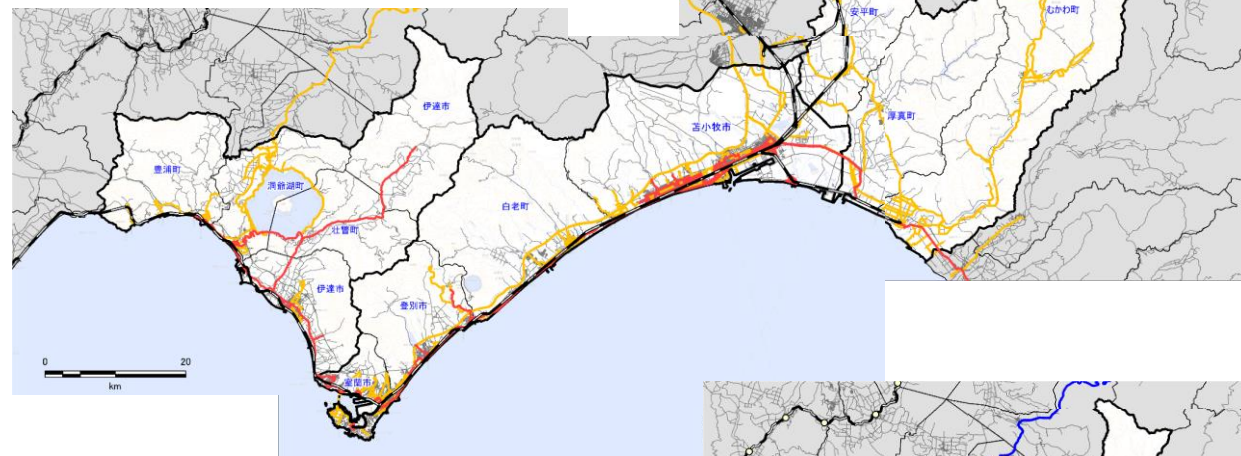
2-1 地域概況整理

(2) 北海道胆振地域内を運行する公共交通及び公共交通による人口カバー率の状況

□北海道胆振地域内を運行する公共交通は、JR（函館本線・千歳線・室蘭本線・日高本線・石勝線）のほか路線バス96系統、都市間バス7系統、生活圏交通44系統が運行しています。

□一方で、これら公共交通による人口カバー率（駅から半径1km内もしくはバス停から半径300m内に居住する人口）は86.3%であり、残る**約15%程度は公共交通を利用することが困難な地域に居住**している状況です。

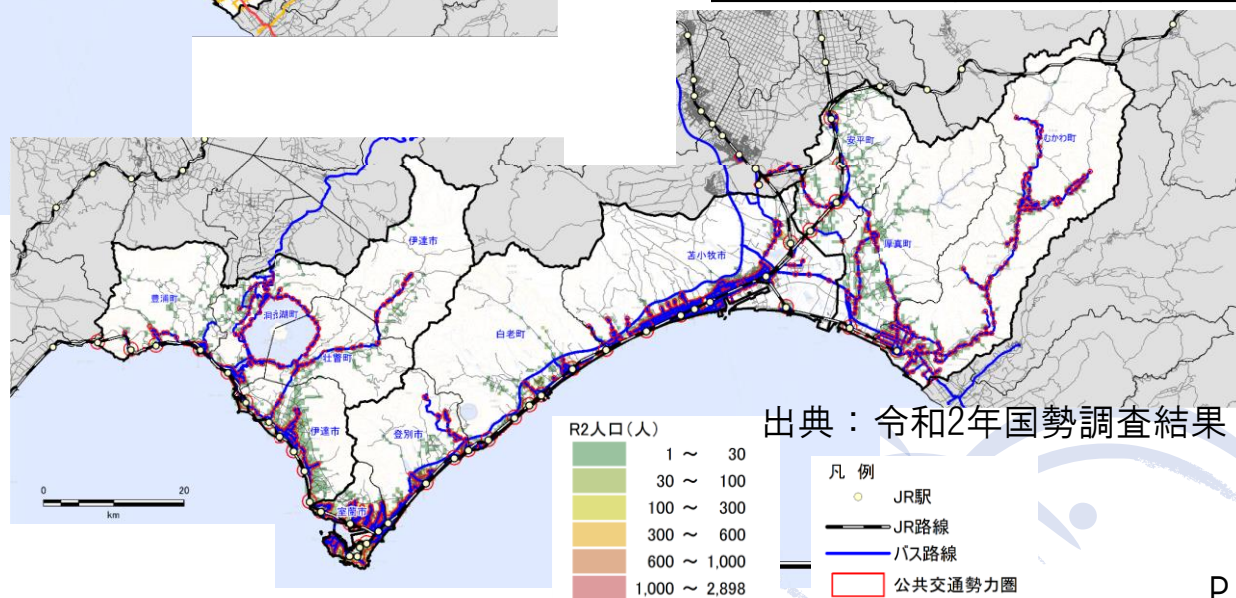
▼北海道胆振地域内を運行する公共交通路線図



凡 例
 — JR路線
 — バス路線(幹線・広域交通)
 — バス路線(生活圏交通)

北海道胆振地域内を運行する公共交通の人口カバー状況▶

	R2勢力圏人口	R2人口	R2カバー率
室蘭市	72,238	82,383	87.7%
苫小牧市	155,602	170,113	91.5%
登別市	37,052	46,391	79.9%
伊達市	27,400	32,826	83.5%
豊浦町	3,275	3,821	85.7%
壮瞥町	1,655	2,743	60.3%
白老町	13,110	16,212	80.9%
厚真町	2,268	4,432	51.2%
洞爺湖町	7,459	8,442	88.4%
安平町	5,419	7,340	73.8%
むかわ町	4,554	7,651	59.5%
合計	330,032	382,354	86.3%



出典：令和2年国勢調査結果

凡 例
 ● JR駅
 — JR路線
 — バス路線
 □ 公共交通勢力圏

2. 各種調査（案）について

2-2 上位・関連計画の整理

□北海道胆振地域において、まちづくりと連動した公共交通網を構築することを目的に、北海道胆振地域公共交通計画と関連するまちづくり計画を整理

国の公共交通に関する法律及び計画		
・ 交通政策基本法		： 平成25年～（令和2年一部改正）
・ 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律		： 平成19年～（令和5年4月一部改正）
・ 道路運送法		： 令和5年4月一部改正
・ 第2次交通政策基本計画		： 令和3年度～令和7年度
北海道の公共交通に関する計画		
・ 北海道交通政策総合指針		： 令和3年度～令和7年度
・ 北海道新広域道路交通ビジョン・計画		： 令和3年度～
北海道胆振地域の公共交通に関する計画		
・ 室蘭都市圏都市交通マスタープラン		： 平成31年度～
・ 東胆振定住自立圏共生ビジョン		： 令和2年度～令和6年度
・ 有珠山周辺地域強靱化計画		： 令和2年度～令和6年度
・ 室蘭圏都市計画区域の整備、開発及び保全の方針		： 令和3年度～
北海道胆振地域各市町の公共交通に関するまちづくり計画（受注後整理を想定）		
分野	想定される計画名	公共交通の観点
まちづくり	・ 総合（振興）計画 ・ まち・ひと・しごと創生総合戦略 ・ 地域公共交通計画 ・ 過疎地域持続的発展市町村計画 等	・ 公共交通の維持・確保 ・ 持続可能な公共交通の実現 ・ 地域内交通の実現 ・ ICTを活用した交通システムの構築 等
医療・福祉	・ 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 等 ・ 障がい福祉計画	・ 高齢者等の交通費助成 ・ 移動困難者の通院交通費の助成 ・ 運転免許に対する支援事業 等
子育て・教育	・ 子ども子育て支援事業計画 等	・ 妊婦検診通院にかかる交通支援 ・ スクールバスの運行 ・ 通学に係る費用の一部助成 等
観光	・ 観光ビジョン 等	・ 二次交通を利用しやすい環境づくり ・ 観光客の移動に適した情報提供 等

各市町

さま

への

ご依頼

・ 公共交通の観点が見えてくる、まちづくり
関連計画の提供

2. 各種調査（案）について

2-3 アンケート調査

□住民の移動実態や幹線交通・広域交通・地域内交通に対するニーズを把握

□住民の日常の「生活圏」及び「医療圏」の整理及び真に公共交通を必要としているターゲット層の抽出

調査実施時期及び調査方法

- ・調査時期： 令和5年7月下旬から8月上旬
※各市町の地域内交通の検討にも取得データの活用を想定し、統計的精度を考慮し、調査対象は15,900世帯を想定（信頼確率95%）
- ・調査方法： 【配布】郵送による配布
※各世帯2票配布（31,800票）するとともに、回収率の向上に向け、WEBアンケート調査の併用も検討
【回収】郵送による回収（目標回収率30%を想定）
※返信用封筒を同梱

アンケート調査項目（案）及びアウトプットイメージ

調査項目	調査内容	アウトプット
個人属性	性別、年齢、職業、住所、自動車運転免許証及び自動車保有状況など	・年齢や自動車運転免許証保有状況、地区別など他項目とのクロス集計による属性ごとの傾向分析に活用
交通行動	通学・通勤、買い物、通院、私用などの頻度・曜日・目的地・交通手段、総移動時間など	・現状の生活交通の実態を分析 ・「生活圏」及び「医療圏」の分析
公共交通で重要視するもの	利用する公共交通に対する満足度、望ましい運行時間帯、所要時間、乗換の有無、運賃の他、交通結節点に必要な機能など	・幹線交通・広域交通・地域内交通に対するニーズの把握

各市町
さま
への
ご依頼

・配布対象となる住民の
送付先データの提供
※以下の配布世帯数のランダム抽出を想定

配布世帯数（案）

室蘭市	： 2,200世帯	苫小牧市	： 3,000世帯
登別市	： 1,900世帯	伊達市	： 1,800世帯
豊浦町	： 900世帯	壮瞥町	： 900世帯
白老町	： 1,300世帯	厚真町	： 1,000世帯
洞爺湖町	： 1,100世帯	安平町	： 900世帯
むかわ町	： 900世帯		

アンケート調査票は、
7/6の協議会総会で
協議予定

2. 各種調査（案）について

2-4 乗り込み調査

高校の夏休み等の関係から6/8に開催いたしました幹事会において、ご協議をいただき、以下の内容で実施させていただくことで合意済み

- バス路線・系統の利用状況等が見える化する「バス路線カルテ」の作成
- 回答者負担軽減に繋がる「ビンゴ式アンケート票」を活用した調査実施
- 画像処理技術を活用したバス停別利用者数データの取得

調査実施時期及び調査対象、調査方法

- ・調査時期： 7月4・5・6日（平日1日）※予備日：11・12・13日
- ・調査対象： 自治体間を跨ぐバス路線（地域間幹線系統：16路線）
- ・調査方法： 調査員が調査対象路線・系統に乗り込み、利用者に直接、ビンゴ式アンケート票を配布

乗り込み調査対象路線・系統

運行事業者	対象路線・系統
道南バス(株)	室蘭市内線②、登別・苫小牧線、室蘭・洞爺湖線①、室蘭・洞爺湖線②、室蘭・伊達線、有珠線①、日高沿岸線①、胆振線、洞爺湖温泉線、豊浦線、室蘭・登別温泉線、洞爺湖温泉線②
あつまバス(株)	千歳線、苫小牧線①、苫小牧線②、苫小牧線③

把握内容

- ・利用実態： 車内の聞き取りや記述などの調査対象者への負担軽減を目的に、**車内でも簡便に回答が可能なビンゴ式アンケート票を用いた調査実施を提案**
- ・利用者数： 調査員が対象となる路線・系統の全便に乗車し、目視で各バス停の利用者数をカウント

調査項目（案）

調査項目	調査内容
個人属性	性別、年齢、職業、自動車運転免許証及び自動車保有状況
利用状況	利用路線、利用時間帯、乗車・降車したバス停、主な利用目的、 乗車前後の交通手段（JR乗継含む） 、利用頻度、運賃の支払い方法
バスサービスの改善点	バス交通における改善点（運行時間帯、運行便数、運賃など）
将来のバス利用意向	サービス改善した場合の利用意向

公共交通乗降調査にご協力をお願いいたします

【調査実施主体】：北海道広域地域公共交通活性化協議会 担当者：石川、川村
 【調査実施機関】：日本データサービス㈱ 計画調査部 担当者：東本、斉藤
 各質問について、該当箇所を指で折り込み、降車の際に調査員へお渡しください。

問1 この路線バスの利用目的

問2 この路線バスに乗車する前の交通手段

問3 問2の交通手段を利用する前の滞在場所

問4 この路線バスから降車した後の交通手段

問5 問4の交通手段を利用した後の行き先

問6 利用頻度

問7 運賃の支払い方法

問8 今後、5年間の利用意向

問9 運行便数

問10 運行時間帯

問11 運賃

問12 免許保有状況

問13 自動車保有状況

問14 問9～11のサービスが向上した場合の利用意向

問15 性別

問16 年齢

ご協力ありがとうございました。降車の際に調査員へお渡しください。

【調査員記入欄】

時		分		路線・系統名																																									
No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40					
発車																																													
No.	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80					
発車																																													
No.	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120					
発車																																													

2. 各種調査（案）について

2-4 乗り込み調査

■車載カメラを活用した画像処理によるバス停別利用者数の把握イメージ



人数カウント



属性推定



車載カメラのデータ提供

連携先：道南バス㈱

AIを活用した画像処理分析

連携先：室蘭工業大学

各市町
さま
への
ご依頼

・ 学校祭や夏休みなど、通常の移動と異なる可能性があるイベント日程の共有

2. 各種調査（案）について

2-5 ヒアリング調査

- 交通モード別・路線別の地域公共交通の維持に係る行政支援の状況や利用状況の把握
- 各市町内を運行する輸送サービスについても各市町の関係部局へのヒアリング調査を通じて把握
- 確実な調査実施に向け、調査項目をまとめた「ヒアリングシート」及びオンラインも活用した調査実施

交通モード	調査の視点	調査対象	想定するヒアリング内容(案)
JR室蘭本線	運行に係る基礎データの収集	・北海道旅客鉄道株式会社	・室蘭本線の運行状況及び利用状況 ・路線維持に対する考え方
都市間バス	運行に係る基礎データの収集及び路線維持に関する考え方	・道南バス株式会社 ・中央バス株式会社	・北海道胆振地域を起終点とする都市間バスの運行状況 ・都市間バスの運行に係る経費 ・運転手、車両の運用状況 ・路線維持に係る行政支援の状況 ・路線維持に関する考え方
自治体間を跨ぐバス路線	運行に係る基礎データの収集及び路線維持に関する考え方	・道南バス株式会社 ・あつまバス株式会社	・北海道胆振地域を起終点とする自治体間を跨ぐバス路線の運行状況 ・自治体間を跨ぐバス路線の運行に係る経費 ・運転手、車両の運用状況 ・路線維持に係る行政支援の状況 ・路線維持に関する考え方
地域内交通	運行に係る基礎データの収集及び路線維持に関する考え方	・道南バス株式会社 ・あつまバス株式会社	・市町内完結路線の運行状況 ・市町内完結路線の運行に係る経費 ・運転手、車両の運用状況 ・路線維持に係る行政支援の状況 ・路線維持に関する考え方
各市町に係る交通全般及び地域内交通	移動支援事業に係る基礎データの収集	・各市町の協議会及び参加市町	・鉄道や都市間バス、自治体間を跨ぐバスなど、市町内を運行する公共交通に対する考え方 ・路線維持に係る行政支援の状況 ・各市町で実施している移動支援事業の事業概要、利用状況 ・各市町で実施している移動支援事業に係る経費 ・各市町内で民間企業等が実施している送迎交通の状況 ・移動支援事業の継続に対する考え方

2. 各種調査（案）について

2-5 ヒアリング調査

交通モード	調査の視点	調査対象	想定するヒアリング内容(案)
地域内交通	公共交通事業に係る基礎データの収集	・各市町教育部局	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールバスの運行状況 ・スクールバスの運行に係る経費 ・スクールバスの一般混乗の実施有無・実施可能性 ・スクールバスの運行空き時間における活用可能性
	福祉有償運送などの基礎データの収集	・各市町福祉部局	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉有償運送実施団体の運行状況 ・福祉有償運送実施団体への補助 ・福祉有償運送実施団体との連携可能性など ※必要に応じて、福祉有償運送実施団体へのヒアリング調査も実施
	輸送サービスに係る基礎データの収集	・北海道ハイヤー協会	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道胆振地域のタクシー・ハイヤー事業者の運転手数、年齢構成 ・事業継続にあたっての課題 ※必要に応じて、 室蘭ハイヤー協同組合、苫小牧地区ハイヤー協会及び胆振西部ハイヤー協同組合へのヒアリング調査 も実施
		・各市町の医療・商業・観光施設	<ul style="list-style-type: none"> ・輸送サービスの利用状況 ・住民移動ニーズへの対応の必要性 ・公共交通へのニーズ把握 ・輸送サービスの事業継続に係る課題 ・各市町における新たな公共交通の担い手の確保の可能性

各市町
さま
への
ご依頼

- ・ 高等学校独自のスクールバス運行や民間企業の従業員送迎バス運行実態に関する情報提供
- ・ 各市町の関係機関（商業・医療・観光施設等）との連絡調整